

平成27年度「学位記授与式」における理事長あいさつ

平成28年3月20日（日）10:00～

アイザック小杉文化ホール ラポール

本日、平成27年度学位記授与式が挙行される、この良き日にあたり、公立大学法人富山県立大学を代表いたしまして、お祝いの言葉を申し上げます。

卒業生の皆様、ご卒業、おめでとうございます。大学院修了者の皆様、修了おめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。

また、卒業生ならびに修了生の学業や生活を支えていただきました、ご家族の皆様をはじめ、関係者の皆様にも、お祝いを申し上げますとともに、これまで、富山県立大学に対しまして、ご理解とご協力を賜りましたことに、厚く感謝を申し上げます。

また、本日は、石井富山県知事様、横山県議会議長様をはじめ多くのご来賓の皆様にご臨席を賜りました。心からお礼申し上げます。

本学は、平成2年に日本海側初の工学系公立大学として開学し、そして、昨年4月に公立大学法人となりましたが、これを機に6年間の中期計画を立て、これまでの実績をベースに3つの目標を掲げました。

1つ目は学生を大きく伸ばす教育力の高い大学、2つ目は未来を志向した高度な研究を推進する大学、3つ目は広く開かれ地域に貢献する大学を目指すこととし、教職員一丸となって取り組んでおります。

法人化にあたっては、特に、県立の大学としての使命を改めて考え、産業社会から求められる人材の育成と若者の定着に一層貢献していくため、工学部の入学定員を来年までに100名増やす大規模な拡充計画を立てまして、工学部としては全国初の医薬品工学科を新設するなどの準備を進めております。

さらに、質の高い看護人材の確保と女性の定着を図るため、「看護学部」の開設準備も進めることとしております。

ご案内のとおり、若い人たちの人口が減少していく大変厳しい環境の中ではありますが、それ故になおさらのこと、県立大学の拡充計画を必ず実現し、県民の皆様の期待に応えていきたいと考えております。

卒業生の皆様には、ここで学んだことを誇りとし、これからも母校への愛着を持って県立大学がさらに発展するようご支援いただければ幸いに存じます。

今日は皆様一人ひとりにとって人生の節目の日ではありますが、今日までの工学部、あるいは大学院での勉学や様々な体験を通じて、社会人として必要な基礎的な力をしっかり身に付けられたものと思います。

ぜひ自分に自信を持って、4月からの新たなスタートを切っていただきたいと思います。

そしてさらに研鑽に励み、自分の長所を伸ばし、短所を克服して、今後の人生を切り拓き、立派に成功していただきたいと念願しております。

改めまして、卒業生の皆様の大いなる前途を祝福し、ご参集のすべての皆様方のご健勝ご多幸を祈念いたしまして、私のお祝いと、はなむけの言葉といたします。（1110字）

平成28年3月20日 公立大学法人富山県立大学 理事長 寺井 幹男

本日は、誠におめでとうございます。